

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成30年2月8日(2018.2.8)

【公開番号】特開2016-122132(P2016-122132A)

【公開日】平成28年7月7日(2016.7.7)

【年通号数】公開・登録公報2016-040

【出願番号】特願2014-262689(P2014-262689)

【国際特許分類】

G 0 3 B 5/00 (2006.01)

G 0 3 B 15/00 (2006.01)

G 0 3 B 7/091 (2006.01)

G 0 3 B 17/18 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 B 5/00 H

G 0 3 B 15/00 Q

G 0 3 B 7/091

G 0 3 B 17/18 Z

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 5/225 B

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月20日(2017.12.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮像装置の撮像手段からの映像信号を入力する入力部と、

前記撮像装置の撮影モード及び像振れ補正モードに応じた画角に、前記撮像装置の表示部の出力画角を変更する制御部とを備え、

前記制御部は、

前記撮影モードとして静止画撮影モードが選択された場合、前記出力画角を第 1 の画角に変更し、

前記撮影モードとして動画撮影モードが選択された場合、前記出力画角を前記像振れ補正モードに応じて第 2 の画角又は第 3 の画角に変更し、

前記静止画撮影モードが選択された状態で前記撮像装置による動画撮影が開始される場合の前記像振れ補正モードの候補として、前記第 2 の画角に係る前記像振れ補正モードを前記表示部に表示させ、前記第 3 の画角に係る前記像振れ補正モードを前記表示部に表示させず、

前記第 1 の画角は前記第 2 の画角及び前記第 3 の画角よりも広く、前記第 1 の画角と前記第 2 の画角との画角差は所定の閾値よりも大きくなり、前記第 1 の画角と前記第 3 の画角との画角差は前記閾値よりも大きい、像振れ補正装置。

【請求項 2】

前記制御部は、前記動画撮影モードが選択された場合、前記像振れ補正モードの候補として、前記第 2 の画角及び前記第 3 の画角に係る前記像振れ補正モードを前記表示部に表

示させる、請求項 1 に記載の像振れ補正装置。

【請求項 3】

撮像装置の撮像手段からの映像信号を入力する入力部と、

前記撮像装置の撮影モード及び像振れ補正モードに応じた画角に、前記撮像装置の表示部の出力画角を変更する制御部とを備え、

前記制御部は、

前記撮影モードとして静止画撮影モードが選択された場合、前記出力画角を第 1 の画角に変更し、

前記静止画撮影モードが選択された状態で前記撮像装置による動画撮影が開始される場合の前記像振れ補正モードとして、第 2 の画角に係る前記像振れ補正モードが選択された場合、動画撮影の開始時に前記映像信号を基に被写体の追尾対象部位を検出し、前記追尾対象部位が前記第 2 の画角から欠けないように前記撮像装置の補正ユニットを制御し、

前記第 1 の画角は、前記第 2 の画角よりも広く、前記第 1 の画角と前記第 2 の画角との画角差は、所定の閾値よりも大きい、像振れ補正装置。

【請求項 4】

前記補正ユニットは、光学式又は電子式の像振れ補正手段である、請求項 3 に記載の像振れ補正装置。

【請求項 5】

撮像装置の撮像手段からの映像信号を入力する入力部と、

前記撮像装置の撮影モード及び像振れ補正モードに応じた画角に、前記撮像装置の表示部の出力画角を変更する制御部とを備え、

前記制御部は、

前記撮影モードとして静止画撮影モードが選択された場合、前記出力画角を第 1 の画角に変更し、

前記静止画撮影モードが選択された状態で前記撮像装置による動画撮影が開始される場合の前記像振れ補正モードとして、第 2 の画角に係る前記像振れ補正モードが選択された場合、前記出力画角を前記第 2 の画角に一定時間変更し、

前記第 1 の画角は、前記第 2 の画角よりも広く、前記第 1 の画角と前記第 2 の画角との画角差は、所定の閾値よりも大きい、像振れ補正装置。

【請求項 6】

撮像装置の撮像手段からの映像信号を入力する入力部と、

前記撮像装置の撮影モード及び像振れ補正モードに応じた画角に、前記撮像装置の表示部の出力画角を変更する制御部とを備え、

前記制御部は、

前記撮影モードとして静止画撮影モードが選択された場合、前記出力画角を第 1 の画角に変更し、

前記静止画撮影モードが選択された状態で前記撮像装置による動画撮影が開始される場合の前記像振れ補正モードとして、第 2 の画角に係る前記像振れ補正モードが選択され、前記撮像装置の操作部が操作された場合、前記出力画角を前記第 2 の画角に一定時間変更し、

前記第 1 の画角は、前記第 2 の画角よりも広い、像振れ補正装置。

【請求項 7】

撮像装置の撮像手段からの映像信号を入力する入力部と、

前記撮像装置の撮影モード及び像振れ補正モードに応じた画角に、前記撮像装置の表示部の出力画角を変更する制御部とを備え、

前記制御部は、

前記撮影モードとして静止画撮影モードが選択された場合、前記出力画角を第 1 の画角に変更し、

前記静止画撮影モードが選択された状態で前記撮像装置による動画撮影が開始される場合の前記像振れ補正モードとして、第 2 の画角に係る前記像振れ補正モードが選択され

た場合、前記出力画角を前記第 1 の画角及び前記第 2 の画角のうち的一方に変更し、前記撮像装置の通信部を通じて外部機器の出力画角を前記第 1 の画角及び前記第 2 の画角のうちの他方に変更し、

前記第 1 の画角は、前記第 2 の画角よりも広く、前記第 1 の画角と前記第 2 の画角との画角差は、所定の閾値よりも大きい、像振れ補正装置。

【請求項 8】

前記制御部は、前記表示部の出力画角を前記第 1 の画角に変更し、前記外部機器の出力画角を前記第 2 の画角に変更する、請求項 7 に記載の像振れ補正装置。

【請求項 9】

撮像装置の撮影モードとして静止画撮影モードが選択された場合に、前記撮像装置の表示部の出力画角を第 1 の画角に変更するステップと、

前記撮影モードとして動画撮影モードが選択された場合に、前記出力画角を像振れ補正モードに応じて第 2 の画角又は第 3 の画角に変更するステップであって、前記第 1 の画角は前記第 2 の画角及び前記第 3 の画角よりも広く、前記第 1 の画角と前記第 2 の画角との画角差は所定の閾値よりも大きくなく、前記第 1 の画角と前記第 3 の画角との画角差は前記閾値よりも大きい、ステップと、

前記静止画撮影モードが選択された状態で前記撮像装置による動画撮影が開始される場合の前記像振れ補正モードの候補として、前記第 2 の画角に係る前記像振れ補正モードを前記表示部に表示させ、前記第 3 の画角に係る前記像振れ補正モードを前記表示部に表示させないステップとを具備する像振れ補正装置の制御方法。

【請求項 10】

コンピュータに請求項 9 に記載の制御方法を実行させるためのプログラム。

【請求項 11】

請求項 10 に記載のプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の一実施形態は、撮像装置の撮像手段からの映像信号を入力する入力部と、撮像装置の撮影モード及び像振れ補正モードに応じた画角に、撮像装置の表示部の出力画角を変更する制御部とを備え、制御部は、撮影モードとして静止画撮影モードが選択された場合、出力画角を第 1 の画角に変更し、撮影モードとして動画撮影モードが選択された場合、出力画角を像振れ補正モードに応じて第 2 の画角又は第 3 の画角に変更し、静止画撮影モードが選択された状態で撮像装置による動画撮影が開始される場合の像振れ補正モードの候補として、第 2 の画角に係る像振れ補正モードを表示部に表示させ、第 3 の画角に係る像振れ補正モードを表示部に表示させず、第 1 の画角は第 2 の画角及び第 3 の画角よりも広く、第 1 の画角と第 2 の画角との画角差は所定の閾値よりも大きくなく、第 1 の画角と第 3 の画角との画角差は閾値よりも大きい、像振れ補正装置を提供する。